築地本願寺
東久留米会館
会　報

ともしび

－TO MO SI BI－　第237号

2016（平成28）年1月号

正　月

あけましておめでとうございます。二〇一六年の幕開けです。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、新年を迎えると気持ちもリセットされて、今年はどんな年になるのかと心弾む思いがします。そのような思いの中で、今年一年を安心して過ごせるようにとか、仕事がうまくいくようになど、さまざまな願い事をするため、神社へ初詣に行かれる方もおられるでしょう。

お寺では「修正会（しゅしょうえ）」または「元旦会」といって、元旦のお勤めをいたします。この起源は、中国の年始の儀式が日本に伝わったもので、前の年の悪を正して天下泰平を祈る法会として、奈良時代頃より寺院において行われてきたそうです。

修正会をお勤めする意味合いは、仏教でも各宗派によって違いがあります。浄土真宗の修正会や、僧侶・門徒としての元旦の迎え方は、次のようなお言葉がそれをよく表していると思います。

「道徳いくつになるぞ。道徳、念仏申さるべし」

これは、本願寺第８代門主の蓮如（れんにょ）上人のお言葉です。明応２（１４９２）年の正月に道徳さんという方が、蓮如上人に新年のご挨拶をしようと上人のもとへ伺ったところ、道徳さんの姿を見てこのように仰せられたのです。

当時、蓮如上人も道徳さんもかなりの高齢で、無事に新年を迎えられた喜びの思いから上人のもとへ行かれたのですが、道徳さんに対していくつになったかを尋ねられ、お念仏することの大切さを説かれたのです。

浄土真宗の修正会では、初詣のように何か願い事を叶えることではありません。家内安全・商売繁盛・合格祈願などをお念仏申しながらお願いしたとしても利益になることはありません。むしろ、そのような自己中心的な考え方や、目先の幸せばかりにとらわれて右往左往している私たちに対して阿弥陀さまは、本当の願いに気づいてほしいと、お念仏となってはたらいてくださるのです。

蓮如上人が、「念仏申さるべし」とお勧めされたように、浄土真宗の門徒として新年をお迎えするにあたり、お手次のお寺、またはご自宅のお仏壇でお参りし、お経をいただき法話を聴聞して、今年もお念仏とともに聞法の生活を送っていこうと気持ちを新たにすることが何よりも大切なのです。

どうぞ、本年も皆さまと共にお念仏薫る一年といたしましょう。

本年も皆さまのご参拝をお待ちしております。

仏事あれこれ

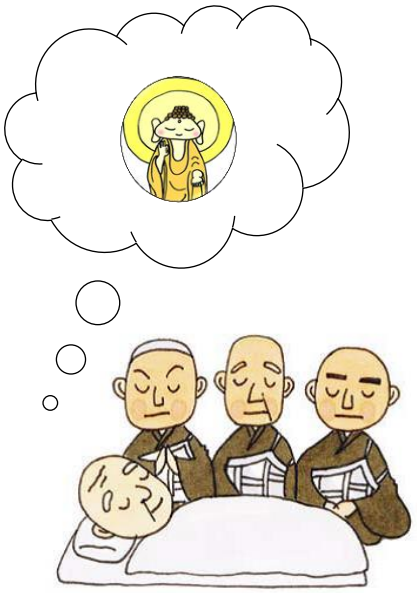
仏事のQ&A

Q．なぜ葬儀を行うのか？

A． 浄土真宗の葬儀は、阿弥陀仏の大悲のはたらきを仰ぐことを中心に行われます。

亡き人がどこへ行くのか、残された遺族らが亡き人とどう関わるのか、という両面から説明いたしましょう。

まず「亡き人はどうなるか」ですが、亡き人は、阿弥陀さまの救いのはたらきによって浄土に生まれ、仏となられます。阿弥陀仏が阿弥陀仏たるゆえんは、どんな境遇の者であっても、誰とは問わず、必ず浄土に救いとって仏にならせることだからです。



亡き人の存在を「死」で終わらせるのではなく、永遠のいのちを持った存在として蘇らせるーその一大事業を成し遂げられたのが阿弥陀さまなのです。「浄土に往き生まれる」と、「死」ではなく、「生」で表現されていることに注目してください。その観点から言うと、この世での出来事は「生前」の出来事というわけです。

また、浄土に往生された亡き人はもう二度と死ぬことのない生を賜ります。限りあるいのちから限りなきいのちの存在に生まれ変わられるのです。それが仏に成るということです。

もう一面の「遺族の関わり」については、これも、阿弥陀さまの救いを信じ、阿弥陀さまのお心を仰ぐことに尽きます。

阿弥陀さまを仰ぐという共通項で、亡き人と出遇い、心を通わせることができます。そして、寂しさ、悲しみ、悔しさの心を克服させてくださいます。また亡き人を仏として敬い、感謝する心を育ててくださいます。

『新・仏事のイロハ』より抜粋

お知らせ

会館リーフレット完成！

これまで、会館の紹介を手軽にできる物がなく制作しておりましたが、この度ようやくリーフレットが完成し、会報に同封させていただきました。

より多くの皆さまにこのリーフレットを手に取っていただき、活用していただけると幸いです。

平成２８年の年回表
（ご法要のお申し込みをお忘れなく）

平成２８年　年回表	
１周忌	平成２７年
３回忌	平成２６年
７回忌	平成２２年
１３回忌	平成１６年
１７回忌	平成１２年
２３回忌	平成　６　年
２５回忌	平成　４　年
２７回忌	平成　２　年
３３回忌	昭和５９年
５０回忌	昭和４２年

１２月行事の様子

★キッズサンガ子ども会　12月6日(日) 10時～12時

寒空のもと６名の子ども達が集まり、おつとめ・法話の後、缶ぽっくりを作って遊び、美味しい焼き芋を食べました。

1.おつとめ

2.焼き芋の下準備

3.缶ぽっくり作り

4.焼き芋試食

↑ あったかくて
美味しいね(^-^)

↑ 缶ぽっくりに乗って決めポーズ！

★常例法座　12月13日(日) 13時～15時

お参りの皆さまと「正信偈」をお勤めし、ご講師・橋本正信師よりご法話をいただき、１６名の方が参拝されました。

↑ ご講師・橋本正信師
ハワイ開教使の経験や、東日本大震災の被災地復興支援活動についてお話いただきました。

↑ 勤行　「正信偈六首引」

おまけ

↑ この度の先生のお話を受けて、防災意識を高めるため、防火訓練をしました。
注：決して遊びではありません（笑）

東久留米会館の 行事案内 —Schedule—

▶ １月の行事予定

元旦会

2016年1月1日(金) 午前0時～

除夜会に引き続きお勤めいたします。
新年を仏さまとともに迎えましょう。

親鸞聖人御命日お晨朝総参拝

1月16日(土) 午前7時～

月に１度、朝のお勤めにお参りしませんか？
お供物のおさがりをプレゼントいたします。

親鸞聖人御命日法座・新年会

1月16日(土) 午後1時～

ご講師　七里順量 師
（埼玉県　超光寺）

ご法話終了後、新年会を行います。
お楽しみ抽選会において、素敵な景品が当たります。

▶ ２月の行事予定

常例法座

2月14日(日) 午後1時～

ご講師　熊原博文 師
（埼玉県　正善寺）

お気軽にお参りください。

お仏飯米のご進納

奥川眞三様　大関正夫様

その他ご進納

村中秀行様（リンゴ一箱）

ありがとうございました。

お晨朝お休みのお知らせ

1月4日(月)・5日(火)・6日(水)
3日間、お休みさせていただきます。

編集後記

先月長女（5才）が風邪を引き、一週間ほど寝込んだ挙げ句、完治したと思えば、今度は長男（6ヵ月）に伝染したようで、ひどく咳き込み、しばらく何度も病院に連れて行き大変でした。私はと言えば、先日奥歯の詰め物が取れて歯医者通いの日々です…（安）

東久留米会館会報　「ともしび」
発行日　2016年1月1日　第237号
発行者　安邉 泰教
住所　東京都東久留米市柳窪5-8-30
電話　042-474-6787